



ホームックス杯野球大会

控え選手にも出場機会

控え選手にも出場機会を与えようと二昨年から始められた「ホームックス杯豊田南部野球大会」の第2回目が、12月10・11日の2日間、高岡公園グラウンドの野球場で開催された。

8中学校が参加

冬場の練習にも意欲

この大会は高岡地区の豊田地域文化広場や高岡公園の指定管理者を務めるホームックス(株)が、公

共施設の管理者ならではの地域貢献をしようと始めた自主事業。相談を持ちかけた高岡中学校野球部顧問の水野玄志さん(30)から「控え選手が出場できる野球大会はどうか」と提案され、開催が決まったものだ。冬場は大会や練習試合がなく、走り込みや筋力トレーニングなどの地味で

共施設の利用者ならではの地域貢献をしようと始めた自主事業。相談を持ちかけた高岡中学校野球部顧問の水野玄志さん(30)から「控え選手が出場できる野球大会はどうか」と提案され、開催が決まったものだ。冬場は大会や練習試合がなく、走り込みや筋力トレーニングなどの地味で

校が集まり、レギュラーも控え選手も登録した全員が出場する形で2日間のリーグ戦を行った。

ホームックス社員で豊田地域文化広場施設長の大井信治さんは「大会に出られれば控え選手もやる気が出るでしょうし、お父さんお母さんも喜んでくれるのでは」と嬉しそうだ。

きつい練習が続く。そんな選手たちのやる気を維持しようという気持ちも込めた冬場の野球大会だ。一昨年12月の第1回は豊田地域文化広場の野球場に高岡・竜神・若園・前林の4中学校が集まり、控え選手中心のチーム編成で行った。

第2回目の今回は野球場が3面ある広い高岡公園で開催。前回の4校に加えて保見・逢妻・梅坪台・みよし北の計8中学

「控え選手も出場しますので試合がいつも通りに進まないことも多々ありますが、全員に良い緊張感を与えられます。この大会を機にチャンスをつかみ取り、冬場に練習を頑張ってレギュラーになるんだという気持ちが高まる大会にしていきますね」と話してくれました。来冬の第3回大会は12チームほどに増やして開催したいそう。

【新見克也】

日頃は控えの選手も、試合に出場できるとなればモチベーションが高まる。豊田市高岡公園で。